

令和 7 年度事業概要【多摩市自動運転バス社会実装によるバスネットワーク維持・確保事業】

申請者	東京都多摩市						初回採択回	令和 7 年度第 2 回募集
事業計画期間	R7-R 8 年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	159,435千円 (65,145千円) ※申請時
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		事業分野	生活環境の創生
目的・効果	当市は、都心への良好なアクセスを活かし、大都市郊外のベッドタウンとして成長してきたが、丘陵地にあるニュータウン地区では少子高齢化と人口減少が顕著となっている。自動運転バスの導入を通じて、市民にとって必要不可欠な路線バスの維持・確保を図ることで、少子高齢化や人口減少が進む中でも都市の活力と魅力を維持することを目的とする。							
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ・自動運転バスにとっての走行環境に恵まれた多摩ニュータウンにおいて、大型の自動運転バスを導入することにより、輸送量の向上を図るとともに、安定・効率的な運行による渋滞緩和交通網の維持・環境負荷を低減することによって、バスネットワークの維持・確保を行う。 ・大型の自動運転バスの運行により幹線交通を確保することにより、その他の路線に、不足する乗務員を再配分し、支線交通を維持することで、地域全体の交通網を確保し、まちの回遊性や人々の交流を促進する。 【令和 7 年度ソフト事業経費】 交付対象事業費 58,835千円 ・年間収入 160千円 ・自動運転車両費（リース） 9,900千円 ・車両関連費 365千円 ・システム関連費 1,350千円 ・設備関連費 270千円 ・リスクアセスメント費 29,356千円 ・労務費 15,802千円 ・その他（広告物作成等）1,952千円						  自動運転バス いすゞ エルガ	
地域の多様な 主体の参画	・ 民間バス会社による循環系統かつ道路環境が自動運転走行に最も適する路線にて実証を行い、課題の洗い出しと実証エリアの受容性醸成に取り組むとともに、民間企業による自動運転技術を開発・向上をするとともに、改造車によらない市販の自動運転車両の開発のコスト削減を行う。 ・ 民間バス会社及び民間事業者、地元大学と連携して、運行実績及びアンケート調査を実施し、収集・現地対応・分析により効果測定を行う。 ・ 認知拡大・利用促進では、地元大学と連携し、小学生を対象とした自動運転に関する出前授業や市民参加型イベントなどの企画検討・実施する。						KPI結果 () 内は令和 7 年度目標値	・将来展望人口（目指すべき将来人口）の増加人数（17人） 26人 ・自動運転走行率（70%） 96.8% ・自動運転車両の乗車人数（800人） 938人